

(証券コード 6630)  
平成24年7月12日

株 主 各 位

東京都江東区古石場一丁目4番4号  
**ヤーマン株式会社**  
代表取締役社長 山 崎 貴三代

## 第38回定時株主総会招集ご通知

拝啓 平素は格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、当社第38回定時株主総会を下記のとおり開催いたしますので、ご出席くださいますようご通知申し上げます。

なお、当日ご出席願えない場合には、書面により議決権を行使することができますので、お手数ながら後記の株主総会参考書類をご検討のうえ、同封の議決権行使書用紙に議案に対する賛否をご表示いただき、平成24年7月26日（木曜日）午後5時までに到着するようご返送いただきたくお願い申し上げます。

敬 具

### 記

- |                 |  |
|-----------------|--|
| 1. 日 時          | 平成24年7月27日（金曜日） 午前10時  |
| 2. 場 所          | 東京都江東区東陽六丁目3番3号<br>ホテルイースト21東京 イースト21ホール<br>(末尾の会場案内図をご参照ください)   |
| 3. 目的事項<br>報告事項 | 1. 第38期（平成23年5月1日から平成24年4月30日まで）事業報告、連結計算書類の内容並びに会計監査人及び監査役会の連結計算書類監査結果報告の件<br>2. 第38期（平成23年5月1日から平成24年4月30日まで）計算書類の内容報告の件 |
| 決議事項            |  |
| 第1号議案           | 剰余金の処分の件   |
| 第2号議案           | 取締役1名選任の件  |

以 上

◎当日ご出席の際は、お手数ながら同封の議決権行使書用紙を会場受付にご提出くださいますようお願い申し上げます。

◎株主総会参考書類並びに事業報告、連結計算書類及び計算書類に修正が生じた場合は、インターネット上の当社ウェブサイト（<http://www.ya-man.com/ir/>）に掲載させていただきます。

◎当日は節電対策として会場の冷房の温度調整を行うため、軽装（クールビズ）にて対応させていただきますのでご了承賜りますようお願い申し上げます。株主の皆様におかれましても軽装にてご出席くださいますようお願い申し上げます。

# 事業報告

(平成23年5月1日から  
平成24年4月30日まで)

## 1. 企業集団の現況に関する事項

### (1) 事業の経過及びその成果

当連結会計年度における世界経済は、欧州の金融不安や米国の景気減速懸念、タイ洪水の影響など、景気下振れの要素が存在し、先行きは予断を許さない状況で推移しました。

一方、わが国経済は、東日本大震災による影響が引き続き見られるものの、復旧・復興に向けた需要の拡大もあり、経済活動や個人消費は一部で持ち直しの兆しが見られてきております。

そうした中、当社グループの属する美容健康関連業界は、テレビや雑誌等のメディアからの注目度が大きく上昇し、「おうちエステ」が一部のコアな個人消費者だけでなく、一般消費者に広く認知されるような状況を迎えていると言えます。

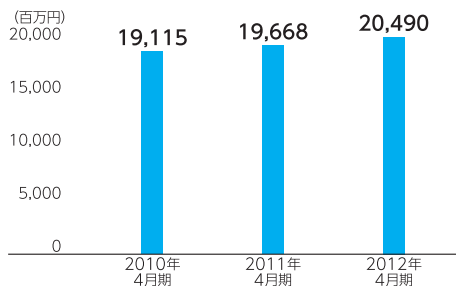
このような状況の下、当社グループは、

脱毛器「no!no!HAIR」シリーズについて、店舗販売と通信販売の両面においてテレビ・雑誌・ブログ媒体等を通じて積極的に販売促進活動を行い、売上が堅調に推移した他、化粧品「オンリーミネラル」シリーズについて、販路ごとに独自感のある限定セットを数多く用意して新規顧客を獲得しつつ、更に既存顧客に対する継続使用の促進に注力してリピート売上を維持できたことなどから、前連結会計年度を上回る売上高を達成することができました。

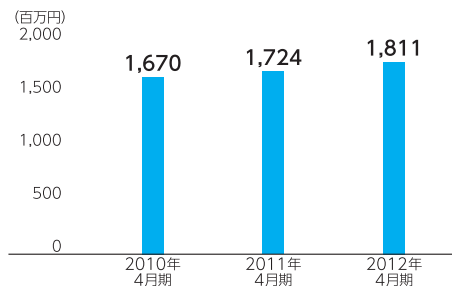
また、利益面では、売上伸長に伴う売上総利益の増加を確保し、経費では、インフォーマーシャル※を中心とする広告宣伝活動を積極展開する一方、物流コストを中心に効率的な支出に努めた結果、増益を達成することができました。

### 連結財務ハイライト

#### ● 売上高



#### ● 営業利益



この結果、当連結会計年度の売上高は20,490,890千円（前連結会計年度比4.2%増）、経常利益は1,783,069千円（前連結会計年度比4.9%増）、当期純利益は1,035,758千円（前連結会計年度比10.0%増）となりました。

また、当社は、平成24年1月27日に東京証券取引所市場第一部へ上場いたしました。これもひとえに皆様のご支援の賜物と厚く御礼申し上げます。

次に、各部門の概況についてご報告申し上げます。

当社グループの美容健康関連事業は、販売チャネルごとに、大きく通販部門、店販部門、直販部門に区分されます。

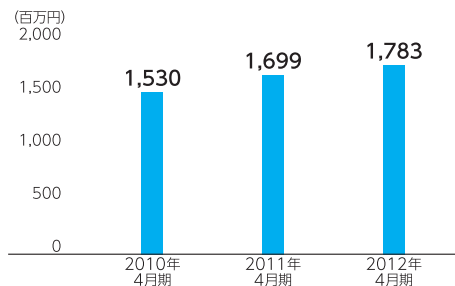
通販部門におきましては、地上波通販会社やカタログ通販会社への販売で、フィットネス器具等が若干伸び悩んだものの、ショッピング専門チャンネルへの機能性アパレル商材や脱毛器「no!no!HAIR」シリーズ、痩身器具「アセチノセルビー」等の販売が好調に推移し、売上高は6,977,413千円と前年を上回る結果となりました。

店販部門におきましては、化粧品「オンリーミネラル」シリーズが大手百貨店での店頭販売でブランドイメージを向上させたことや有名雑誌を中心に積極的に広告展開を進めたことが奏功し売上を増加させた他、脱毛器「no!no!HAIR」シリーズが需要期である第1・第4四半期に大きく伸長したものの、美顔器「プラチナゲルマローラー」が大きく売上を減らしたことから、売上高は6,163,268千円と前年を下回る結果となりました。

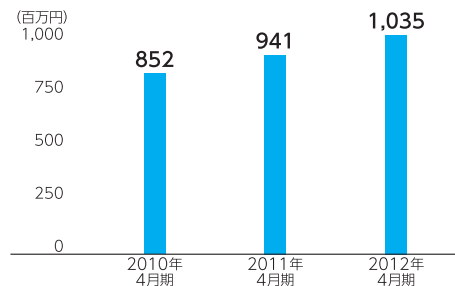
直販部門におきましては、化粧品「オンリーミネラル」シリーズがリピート売上にも下支えされ安定して売上の伸長に貢献した他、空気清浄機「イオニックプロターボ」がインフォーマーシャル※の積極展開で好調に推移し、売上高は7,153,970千円と前年を上回る結果となりました。

※ インフォーマーシャルとは、インフォメーションとコマーシャルを合わせた造語であり、欧米で登場したテレビショッピングの手法です。

● 経常利益



● 当期純利益



当連結会計年度における主な新開発製品・仕入商品は、次のとおりです。

| 発表日      | 製品・商品名                                       | 特 徴   |
|----------|--|---|
| 平成23年 5月 | アセチノセルビー                                     | エステサロンのハンドトリートメントのようなもみ出しケアができる3D美容ローラー               |
| 平成23年 5月 | シエルネイルシリーズ<br>ソフトLEDジェルスターターキット              | UVランプに替えてLEDランプを採用した、マニキュア感覚でジェルネイルが手軽に自宅で行えるセット      |
| 平成23年 6月 | プラチナホワイトイオンローラー<br>CLEMO (クリモ)               | ローラーによるタッピングとイオントリートメントを組み合わせた携帯型多機能美顔器               |
| 平成23年 7月 | プラチナホワイトうるおいステーション                           | 携帯型フォトミスト「うるおいミスト」と置き型スチーマー「うるおいスチーマー」を組み合わせた次世代スチーマー |
| 平成23年 9月 | オンリーミネラルシリーズ<br>ミネラルプラスアクアリッチクリーム            | 新感触のミネラル美肌ローションクリーム                                   |
| 平成23年11月 | オンリーミネラルシリーズ<br>フェイスパウダーローズフレグランス            | 天然ローズオイルを採用した、オンリーミネラル初のフレグランス付フェイスパウダー               |
| 平成24年 3月 | no!no!HAIRシリーズ<br>CUTE・LITE・SLIM・SmartPurple | サーミコン式脱毛※1器no!no!HAIRの新モデル                            |
| 平成24年 3月 | フェイスサイズCute                                  | タッピングによる携帯型美顔器フェイスサイズUPの新モデル                          |
| 平成24年 3月 | スリムナージュEMS                                   | ヘッド部分にEMS※2機能を搭載した全く新しい形状の美容機                         |
| 平成24年 3月 | シンクロEMSグローブspa                               | シンクロビートシステム※3を搭載した防水機能付きEMSグローブ                       |

※1 サーミコン式脱毛とは、熱線によってムダ毛を処理する方式です。

※2 EMSとは、Electrical Muscle Stimulationの略で、運動神経に電流を流すことで筋肉を刺激し、効率よく筋肉を鍛える運動法をいいます。

※3 シンクロビートシステムとは、左右のグローブについたコントローラを近づけるだけでEMS出力がシンクロする、業界初のシステムです。

当連結会計年度における新規取得特許は、次のとおりです。

| 名 称                    | 登 録 日      | 登録番号     | 登 録 地 |
|------------------------|------------|----------|-------|
| トリートメント装置（デュアルソニックイオン） | 2011/5/20  | 4744968  | 日本    |
| 温冷ミスト器                 | 2011/6/3   | 4755627  | 日本    |
| 複合振動発生機とリラクゼーション装置     | 2011/7/1   | 4773635  | 日本    |
| レーザートリートメント装置          | 2011/7/22  | 4786057  | 日本    |
| 自転車                    | 2011/8/5   | 4795020  | 日本    |
| 運動装置                   | 2011/8/12  | 1125880B | 香港    |
| 美肌装置（スポットゼロ）           | 2011/9/16  | 4825615  | 日本    |
| 超音波美容器（スキンアブレーダー）      | 2011/9/30  | 4833917  | 日本    |
| リラクゼーション装置             | 2011/11/1  | 4773635  | 日本    |
| 痩身衣類                   | 2011/11/11 | 4861073  | 日本    |
| 噴霧装置（ホワイトミスト）          | 2011/12/9  | 4881308  | 日本    |
| 低周波パルス装置               | 2012/3/16  | 4949572  | 日本    |

以上、合計12件（国内11件・海外1件） 総取得件数171件

（平成24年4月30日現在）

当連結会計年度における新規出願特許は、次のとおりです。

| 名 称                          | 出願番号              | 出 願 日      | 登録地     |
|------------------------------|-------------------|------------|---------|
| マッサージ装置 (小型振動モータ付手袋)         | PCT/JP2011/061543 | 2011/5/19  | 国内(PCT) |
| 高周波トリートメント装置                 | PCT/JP2011/063902 | 2011/6/17  | 国内(PCT) |
| ミスト発生装置 (うるおいステーション)         | 2011-153596       | 2011/7/12  | 国内      |
| 痛み緩和装置 (エルザーコウ)              | PCT/JP2011/066679 | 2011/7/22  | 国内(PCT) |
| レーザー除毛器 (並行照射式レーザー剃毛装置)      | 2011-219378       | 2011/10/3  | 国内      |
| ヘアトリートメント装置                  | 2011-219499       | 2011/10/3  | 国内      |
| 超音波毛髪トリートメント器 (超音波ヘアケア及び美容器) | 2011-220679       | 2011/10/5  | 国内      |
| ヘアアイロン (超音波ヘア3WAY-IRON)      | 2011-252600       | 2011/11/18 | 国内      |
| 美肌装置 (イオンタップ・フェイスサイズ)        | 100142413         | 2011/11/18 | 台湾      |
| ミスト発生装置 (うるおいステーション)         | 2011-285404       | 2011/12/27 | 国内      |
| ミスト発生装置 (温冷ハンディミスト)          | 2012-005426       | 2012/1/13  | 国内      |
| レーザー脱毛装置 (エピデュオススムース)        | 2012-032483       | 2012/2/17  | 国内      |
| 超音波振動ローラ美容器 (円筒超音波発振子)       | PCT/JP2012/054352 | 2012/2/23  | 国内(PCT) |
| くし付きヘアアイロン                   | 2012-041506       | 2012/2/28  | 国内      |
| 振動ヘアブラシ (音波ヘアブラシ)            | 2012-054685       | 2012/3/12  | 国内      |
| 美肌ローラ装置(LED PGR・イオンローラー)     | PCT/JP2012/057098 | 2012/3/21  | 国内(PCT) |
| 電極付手袋 (シンクロEMSグローブスパ)        | 2012-081733       | 2012/3/30  | 国内      |
| 美肌ローラ装置 (LED PGR・イオンローラー)    | 101110860         | 2012/3/30  | 台湾      |

以上、合計18件 (国内16件・海外2件) 総出願中件数54件

(平成24年4月30日現在)

(注) PCT (Patent Cooperation Treaty) とは、国際特許条約に基づく国際的な特許出願制度のことで、国内出願をした場合に、出願時点で有効な他のPCT加盟国においても同時に申請したことと同じ効果を与えるものです。

## (2) 資金調達等についての状況

### ① 資金調達

当連結会計年度における借入による資金調達はありません。

一方、社債を190,000千円償還し、長期借入金を752,911千円返済いたしました。

### ② 設備投資

当連結会計年度中に実施した設備投資の総額は133,060千円であり、その主なものは購買・販売・在庫などに関する基幹業務システム構築のための投資であります。

### (3) 財産及び損益の状況の推移

#### ① 企業集団の財産及び損益の状況の推移

| 区分             | 年度 | 第35期                   | 第36期                   | 第37期                   | 第38期                                |
|----------------|----|------------------------|------------------------|------------------------|-------------------------------------|
|                |    | H20年5月1日～<br>H21年4月30日 | H21年5月1日～<br>H22年4月30日 | H22年5月1日～<br>H23年4月30日 | (当連結会計年度)<br>H23年5月1日～<br>H24年4月30日 |
| 売上高 (千円)       |    | —                      | 19,115,608             | 19,668,751             | 20,490,890                          |
| 経常利益 (千円)      |    | —                      | 1,530,057              | 1,699,549              | 1,783,069                           |
| 当期純利益 (千円)     |    | —                      | 852,931                | 941,456                | 1,035,758                           |
| 1株当たり当期純利益 (円) |    | —                      | 326.43                 | 161.35                 | 177.51                              |
| 総資産額 (千円)      |    | —                      | 11,546,985             | 11,381,115             | 10,833,845                          |
| 純資産額 (千円)      |    | —                      | 4,953,813              | 5,703,779              | 6,524,555                           |
| 1株当たり純資産額 (円)  |    | —                      | 1,698.00               | 977.55                 | 1,118.22                            |

#### ② 当社の財産及び損益の状況の推移

| 区分             | 年度 | 第35期                   | 第36期                   | 第37期                   | 第38期                              |
|----------------|----|------------------------|------------------------|------------------------|-----------------------------------|
|                |    | H20年5月1日～<br>H21年4月30日 | H21年5月1日～<br>H22年4月30日 | H22年5月1日～<br>H23年4月30日 | (当事業年度)<br>H23年5月1日～<br>H24年4月30日 |
| 売上高 (千円)       |    | 15,685,000             | 18,804,979             | 19,286,548             | 19,975,085                        |
| 経常利益 (千円)      |    | 898,751                | 1,508,527              | 1,660,881              | 1,722,839                         |
| 当期純利益 (千円)     |    | 304,408                | 833,916                | 925,623                | 1,002,106                         |
| 1株当たり当期純利益 (円) |    | 260.92                 | 319.15                 | 158.64                 | 171.75                            |
| 総資産額 (千円)      |    | 9,339,670              | 11,428,256             | 11,175,304             | 10,668,953                        |
| 純資産額 (千円)      |    | 2,429,846              | 4,893,615              | 5,618,101              | 6,405,226                         |
| 1株当たり純資産額 (円)  |    | 1,988.06               | 1,677.36               | 962.87                 | 1,097.77                          |

- (注) 1. 「1株当たり当期純利益」は期中平均発行済株式数に、「1株当たり純資産額」は期末発行済株式数に基づいて算定しており、銭未満を四捨五入して表示しております。
2. 平成21年9月15日付で普通株式1株につき2株の割合をもって株式分割を行っております。なお、第36期の1株当たり当期純利益は、期首に当該株式分割があったものとみなして算出しております。
3. 平成23年3月1日付で普通株式1株につき2株の割合をもって株式分割を行っております。なお、第37期の1株当たり当期純利益は、期首に当該株式分割があったものとみなして算出しております。
4. 第36期が連結計算書類を作成する最初の年度となりますので、第35期については当社単体の数値のみを記載しております。

#### (4) 対処すべき課題

##### ① 安全・安心な製品・商品の提供

当社グループが属する美容健康関連業界は、大手から中小企業まで多数のメーカーや取扱業者が参入しており、近年では、いわゆる「おうちエステ」意識の高まりも受け、活況を呈している業界であると言えます。一方、美容健康関連機器の多くは直接または間接的に身体に接触させる特性を持っていることから、安全性と安心感のある製品・商品を提供することは当業界に属する企業の必須課題であると考えております。

そこで、当社グループは、品質管理の強化を経営上の重要課題として位置づけ、研究開発段階における安全性の検証や効果・効能の測定等を徹底して実施しております。

「ヤーマンの製品・商品であれば満足できる」、「ヤーマンの製品・商品であれば安全・安心である」、「ヤーマンの製品・商品ならその金額は妥当だ」という評価が得られるような製品・商品の提供に努めてまいります。

##### ② 広告宣伝活動の効果測定と適正な支出

当社グループの販売チャネルのうち、特に直販部門につきましても、インフォマーシャルや新聞・雑誌媒体等に対する広告支出の時期・量・内容等が大きく売上の増減に影響し、その結果が大きく損益に影響を与えることが想定されます。

広告宣伝活動の費用対効果の予測及び実績効果の測定は非常に難しく、今後、広告宣伝活動の費用対効果の実証

分析結果を蓄積し、効果予測精度のアップを図ってまいります。加えて、第39期より社長直轄の企画室プロモーション企画グループを新設し、全社統括的に広報企画活動を行うことにより、これまで各部門で独自に行っていた広告宣伝活動をより効果的・効率的に展開し、結果として広告支出の効果増大を図ってまいります。

##### ③ リピート戦略の展開

当社グループが安定的・継続的に売上高及び利益を拡大していくためには、一度ご購入いただいた製品・商品を継続してご購入いただくことのみならず、美容健康に関連する他の製品・商品にも強い関心を抱いていただくことが非常に重要であると考えております。

当社グループが美容健康分野でのデファクトスタンダード企業と位置づけられ、「美容健康製品・商品を買うならヤーマン」と言われるような知名度と安心感を確立することができれば、一度ご購入いただいた製品・商品群を超えて別の製品・商品をお試しいただく積極的な動機となります。

当社は、平成24年1月27日に東京証券取引所市場第一部指定銘柄に承認されております。今後も、美容健康機器のヤーマンとして品質の高い製品・商品を幅広く取り揃えとともに、積極的な広告宣伝活動を行い、継続的な成長を維持していく所存です。



## (5) 主要な事業内容

当社グループは、主に美容健康関連機器の研究開発、製造、販売及び化粧品・バラエティ雑貨・アパレル・ファッショングッズ等の仕入販売を行っております。

## (6) 企業集団の主要拠点等

### ① 企業集団の主要拠点

| 名 称               | 所 在 地       |
|-------------------|-------------|
| 本 店               | 東 京 都 江 東 区 |
| 本 社 事 務 所         | 東 京 都 江 東 区 |
| LABO WELL 株 式 会 社 | 東 京 都 江 東 区 |

### ② 企業集団の従業員の状況

| 区 分         | 従 業 員 数 |
|-------------|---------|
| 通 販 部 門     | 18名     |
| 店 販 部 門     | 26名     |
| 直 販 部 門     | 14名     |
| そ の 他       | 8名      |
| 全 社 ( 共 通 ) | 70名     |
| 計           | 136名    |

(注) 全社 (共通) は、管理本部、開発本部及び生産・物流本部の従業員であります。

### ③ 当社の従業員の状況

| 従業員数 | 前事業年度比増減 | 平均勤続年数 | 平均年齢  |
|------|----------|--------|-------|
| 133名 | 11名増     | 5.1年   | 34.3歳 |

## (7) 重要な親会社及び子会社の状況

### ① 親会社の状況

該当事項はありません。

### ② 子会社の状況

| 会 社 名         | 資 本 金    | 出 資 比 率 | 主 要 な 事 業 内 容 |
|---------------|----------|---------|---------------|
| LABO WELL株式会社 | 10,000千円 | 100.0%  | 美容健康関連機器の販売   |

## (8) 主要な借入先及び借入額

| 借入先           | 借入金残高(千円) |
|---------------|-----------|
| 株式会社三井住友銀行    | 380,186   |
| 株式会社商工組合中央金庫  | 261,112   |
| 株式会社三菱東京UFJ銀行 | 219,022   |

(注) 事業年度末における残高が1億円以上の借入先を記載しております。

## (9) その他企業集団の現況に関する重要な事項

該当事項はありません。

## 2. 株式に関する事項

- (1) 発行可能株式総数 19,555,552株
- (2) 発行済株式の総数 5,834,888株 (自己株式116株を含む。)
- (3) 当事業年度末の株主数 7,574名
- (4) 上位10名の株主の状況

| 株主名               | 持株数(株)    | 持株比率(%) |
|-------------------|-----------|---------|
| 山崎行輝              | 1,037,860 | 17.78   |
| 株式会社日本政策投資銀行      | 888,888   | 15.23   |
| 山崎静子              | 595,440   | 10.20   |
| 山崎貴三代             | 357,760   | 6.13    |
| 山崎光英              | 245,360   | 4.20    |
| Victoria Yamazaki | 208,000   | 3.56    |
| 山崎知美              | 208,000   | 3.56    |
| 山崎岩男              | 147,360   | 2.52    |
| 松本行雄              | 107,960   | 1.85    |
| 池田富江              | 80,000    | 1.37    |

(注) 持株比率は、小数第3位以下を切り捨てて表示しております。

## (5) その他株式に関する重要な事項

該当事項はありません。

### 3. 新株予約権等に関する事項

該当事項はありません。

### 4. 会社役員に関する事項

#### (1) 取締役及び監査役の状況

| 氏名    | 地位及び担当                                       | 重要な兼職の状況 |
|-------|--|----------|
| 山崎行輝  | 代表取締役会長                                      | —        |
| 山崎貴三代 | 代表取締役社長                                      | —        |
| 伊藤千保美 | 取締役副社長兼<br>営業本部長兼<br>先端電子事業部長兼<br>第五健康機器事業部長 | —        |
| 山崎岩男  | 取締役兼<br>開発本部長兼<br>生産技術部長                     | —        |
| 高橋満   | 取締役兼<br>生産・物流本部長兼<br>購買・生産管理部長               | —        |
| 宮崎昌也  | 取管本部長  | —        |
| 戸田正太  | 取締役<br>第二健康機器事業部長                            | —        |
| 岩崎榮治  | 常勤監査役  | —        |
| 榊原純一  | 監査役  | —        |
| 山田勝利  | 監査役  | 弁護士      |
| 亀岡義一  | 監査役  | 公認会計士    |

- (注) 1. 監査役 岩崎榮治、榊原純一、山田勝利、亀岡義一は、会社法第2条第16号に定める社外監査役であります。
2. 監査役 岩崎榮治、山田勝利、亀岡義一は、東京証券取引所の規則に定める独立役員として同取引所に届け出ております。
3. 監査役 亀岡義一は、公認会計士の資格を有しており、財務及び会計に関する相当程度の知見を有するものであります。
4. 当社では、取締役会の意思決定及び業務執行の迅速化並びに効率化を図るため、執行役員制度を導入しております。執行役員は、以下のとおりであります。

| 氏名   | 担当            |
|------|---------------|
| 藤川桂子 | 第一健康機器事業部長    |
| 国本亮一 | 管理本部副本部長兼財務部長 |
| 河崎敦子 | 第三健康機器事業部長    |

**(2) 当事業年度に係る取締役及び監査役の報酬等の総額**

| 区 分   | 支給人員 | 報酬等の額     |
|-------|------|-----------|
| 取 締 役 | 7名   | 210,255千円 |
| 監 査 役 | 4名   | 20,449千円  |
| 計     | 11名  | 230,705千円 |

(注) 監査役分は全て社外監査役分であります。

**(3) 各会社役員の報酬等の額又はその算定方法に係る決定に関する事項**

該当事項はありません。

**(4) その他会社役員に関する重要な事項**

該当事項はありません。

**(5) 社外役員に関する事項**

- ① 他の法人等の業務執行者との重要な兼職に関する事項  
該当事項はありません。
- ② 他の法人等の社外役員等との重要な兼職に関する事項  
該当事項はありません。
- ③ 会社又は会社の特定関係事業者の業務執行者との親族関係  
該当事項はありません。
- ④ 各社外役員の主な活動状況

| 区 分   | 氏 名     | 主 な 活 動 状 況   |
|-------|---------|---|
| 監 査 役 | 岩 崎 榮 治 | 当事業年度の取締役会及び監査役会の全てに出席し、必要に応じ、発言を行っております。                       |
| 監 査 役 | 榊 原 純 一 | 当事業年度の取締役会及び監査役会の全てに出席し、必要に応じ、発言を行っております。                       |
| 監 査 役 | 山 田 勝 利 | 当事業年度の取締役会及び監査役会の全てに出席し、弁護士としての専門的見地より、必要に応じ、発言を行っております。        |
| 監 査 役 | 亀 岡 義 一 | 当事業年度の取締役会の全て及び監査役会のほぼ全てに出席し、公認会計士としての専門的見地より、必要に応じ、発言を行っております。 |

⑤ 責任限定契約に関する事項

当社と各社外監査役は、会社法第427条第1項の規定に基づき、同法第423条第1項の損害賠償責任を限定する契約を締結しております。

当該契約に基づく損害賠償責任の限度額は、会社法第425条第1項に定める最低責任限度額としております。

## 5. 会計監査人に関する事項

### (1) 会計監査人の名称

有限責任 あずさ監査法人

### (2) 責任限定契約に関する事項

当社と有限責任 あずさ監査法人は、会社法第427条第1項の規定に基づき、同法第423条第1項の損害賠償責任を限定する契約を締結しております。

当該契約に基づく損害賠償責任の限度額は、会社法第425条第1項に定める最低責任限度額としております。

### (3) 会計監査人の報酬等の額

|   | 区 分                                   | 報 酬 等 の 額 |
|---|---------------------------------------|-----------|
| ① | 公認会計士法（昭和23年法律第103号）第2条第1項の監査業務の報酬等の額 | 36,000千円  |
| ② | 当社及び子会社が会計監査人に支払うべき金銭その他の財産上の利益の合計額   | 36,000千円  |

(注) 当社と会計監査人との間の監査契約において、会社法に基づく監査と金融商品取引法に基づく監査の監査報酬の額を区分しておらず、実質的にも区分できないため、合計額を記載しております。

### (4) 解任又は不再任の決定の方針

当社は、会社法第340条に定める監査役会による会計監査人の解任のほか、会計監査人が職務を適切に遂行することが困難と認められる場合には、監査役会の同意を得て、又は監査役会の請求により、会計監査人の解任又は不再任に関する議案を株主総会に提案いたします。

## 6. 業務の適正を確保するための体制等の整備についての決議の内容の概要

当社は、会社法及び会社法施行規則に定める「業務の適正を確保するための体制」について、取締役会において以下のとおり決議しております。

### (1) 取締役・使用人の職務の執行が法令及 定款に適合することを確保するための 体制

- ① 取締役は、法令・社内規則等を遵守するために、使用人に対する周知及び教育を徹底し、コンプライアンス体制の整備に率先して努める。また、使用人の職務権限を定めることにより使用人の責任と権限を明確にし、もって業務執行の責任体制を確立する。
- ② 監査役は、独立した立場から、内部統制システムの整備・運用状況を含めた取締役の職務執行を監査する。
- ③ コンプライアンス体制の整備・情報の統括収集部門・有事の際の統括対応部門として、コンプライアンス統括部門を設置する。統括部門長は、取締役会で選任する。
- ④ コンプライアンス統括部門は、法令遵守に関する事項、コンプライアンスに関する重要方針の決定、企業行動基準及びコンプライアンス体制に関して、代表取締役と審議する。
- ⑤ コンプライアンス統括部門は、従業員に対するコンプライアンス教育及び情報発信を継続的に実施することでコンプライアンス意識の向上を促進し、コンプライアンスに係る相談ができる仕組みを構築する。
- ⑥ コンプライアンス統括部門は、顧問弁護士と連携し、社内通報者の保護を徹底した内部通報制度を充実させ、通報

等があった場合は内部監査部門及び顧問弁護士と連携し、事実関係を速やかに調査する。

- ⑦ 内部監査部門として内部監査室を設置し、内部監査室は、内部統制システムの整備・運用状況を監査し、代表取締役社長、取締役会及び監査役会に監査結果を報告するとともに、必要に応じてその改善を促す。
- ⑧ 取締役は、重大な法令違反その他のコンプライアンスに関する重要な事項を発見した場合、取締役会及び監査役会に報告し、適切な対策を講じる。
- ⑨ 使用人は、重大な法令違反その他コンプライアンスに関する重要な事項を発見した場合、コンプライアンス統括部門に報告し、コンプライアンス統括部門は取締役及び監査役に報告し、適切な対策を講じる。
- ⑩ 反社会的勢力対応規程に基づき、反社会的勢力による不当要求に対し、警察及び警視庁管内特殊暴力防止対策連合会とも連携し毅然とした態度で対応する。

### (2) 取締役の職務の執行に係る情報の保存及び管理に関する体制

- ① 取締役は、計算書類等、議事録、会議録、稟議書、契約書その他の各種文書、帳票類について、法令及び文書管理規程に基づいて適切に作成、保存、管理し、取締役及び監査役が必要に応じて閲覧可能な状態を維持する。
- ② 情報セキュリティについては、情報セキュリティ管理規程に情報セキュリティの管理体制を明確に定め、周知徹底する。

- ③ 個人情報については、法令及び個人情報保護規程に基づき厳重な管理を行う。

### **(3) 損失の危険の管理に関する規程その他の体制**

- ① 取締役は、リスク管理規程に基づき定期的にビジネスリスクを検討・評価し、損失のリスクの管理のため必要な体制（リスクの発見・情報伝達・評価・対応の仕組み等）の整備・運用を行う。
- ② リスク管理統括部門は、全社のリスクを統括し、リスクの内容に応じて責任部署を設定し、具体的な対応策を策定する。また、内部監査室と連携し、各責任部署に対して日常的な活動状況の監査を実施する。
- ③ 法務部門は当社の事業に適用される法令等を識別し、その内容を関連部署に周知徹底する。
- ④ 財務報告の正確性と信頼性を確保する観点から、関連する業務プロセスの特定及びリスクの評価を行い、文書化並びに統制活動の実施状況を定期的に確認する。

### **(4) 取締役の職務の執行が効率的に行われることを確保するための体制**

- ① 取締役会は、取締役の職務分掌を定め、各取締役が責任を持って担当する領域を明確にする。各取締役は、各部門の事業計画及び予算申請を踏まえ、必要な経営資源の配分の決定または見直しを行い、当社全体の効率的な運営を確保する。
- ② 取締役及び使用人による意思決定と業務執行についての権限と責任を明確にするため、職務権限及び職務分掌に関する規程を整備する。

### **(5) 当社及びその子会社から成る企業集団における業務の適正を確保するための体制**

- ① 監査体制  
監査役は、必要に応じて子会社の監査役と連携し、グループ全体の経営及び業務の適法性・妥当性・効率性について監査を行う。
- ② 内部監査体制  
内部監査室は、子会社の内部監査を実施することにより、グループ全体の業務全般にわたる内部統制の有効性と妥当性を確保する。
- ③ コンプライアンス  
コンプライアンス統括部門は、グループ全体におけるコンプライアンス体制の構築・維持及び企業倫理の重要性の継続的周知・徹底を行う。

### **(6) 監査役がその職務を補助すべき使用人を置くことを求めた場合における当該使用人に関する事項**

監査役補助使用人の設置については、適材配置の観点から中期的な人事計画で検討することとし、当面は次のとおり対応する。

- ① 監査役並びに監査役会事務局の庶務事項は管理本部内に兼任スタッフを配置する。
- ② 監査補助業務は監査役からの要請事案に関し、管理本部長の指示に基づき、管理本部のスタッフが対応する。

**(7) 上記使用人の取締役からの独立性に関する事項**

- ① 管理本部長は、監査役からの監査補助業務の要請に対し、要員を確保し、監査役の指揮下において当該業務に従事させる。
- ② 管理本部スタッフによる監査補助業務の履行状況の評価は、監査役会が行い、管理本部長に報告する。

- ④ 監査役は、監査の実施にあたり必要と認めるときは、弁護士、公認会計士、コンサルタントその他の外部アドバイザーを任用することができる。
- ⑤ 取締役は、監査役が必要と認めた重要な使用人に対する調査にも協力する。

(注) 本事業報告中の記載金額は、表示単位未満を切り捨てて表示しております。

**(8) 取締役及び使用人が監査役に報告するための体制その他の監査役への報告に関する体制**

- ① 取締役は、監査役の取締役会をはじめとする重要な会議への出席権限を保証する。
- ② 取締役及び使用人は、監査役に対し、業務または財務に重大な影響を及ぼすおそれのある法律上または財務上の諸問題、規制当局からの命令その他著しい損害を及ぼすおそれのある事実について、発見し次第直ちに報告する。また、取締役及び使用人は、監査役からその業務執行に関する事項の報告を求められた場合、速やかに当該事項につき報告する。

**(9) その他監査役の監査が実効的に行われることを確保するための体制**

- ① 監査役は、代表取締役、会計監査人とそれぞれ定期的な会合をもつ。
- ② 監査役は、内部統制システムの有効性を評価するうえで、内部監査室及び会計監査人と連携する。
- ③ 監査役は、会計監査人を監督するとともに、随時会計監査人より会計に関する報告を受ける。



## 連結貸借対照表

(平成24年4月30日現在)

(単位：千円)

| 科 目             | 金 額               | 科 目                | 金 額               |
|-----------------|-------------------|--------------------|-------------------|
| <b>(資産の部)</b>   |                   | <b>(負債の部)</b>      |                   |
| <b>流動資産</b>     | <b>9,822,722</b>  | <b>流動負債</b>        | <b>3,596,118</b>  |
| 現金及び預金          | 2,779,470         | 支払手形及び買掛金          | 1,081,268         |
| 受取手形及び売掛金       | 3,339,534         | 1年内返済予定の長期借入金      | 518,299           |
| 有価証券            | 50,069            | 1年内償還予定の社債         | 160,000           |
| 商品及び製品          | 2,943,232         | リース債務              | 23,329            |
| 仕掛品             | 37,203            | 未払金                | 1,094,731         |
| 原材料及び貯蔵品        | 320,789           | 未払法人税等             | 385,148           |
| 繰延税金資産          | 107,649           | 賞与引当金              | 27,500            |
| その他             | 250,659           | 返品調整引当金            | 155,504           |
| 貸倒引当金           | △5,887            | その他                | 150,335           |
| <b>固定資産</b>     | <b>1,011,123</b>  | <b>固定負債</b>        | <b>713,171</b>    |
| <b>有形固定資産</b>   | <b>565,999</b>    | 社債                 | 35,000            |
| 建物及び構築物         | 130,679           | 長期借入金              | 640,330           |
| 機械装置及び運搬具       | 25,854            | リース債務              | 37,759            |
| 土地              | 346,393           | その他                | 81                |
| リース資産           | 49,362            | <b>負債合計</b>        | <b>4,309,289</b>  |
| 建設仮勘定           | 1,286             | <b>(純資産の部)</b>     |                   |
| その他             | 12,423            | <b>株主資本</b>        | <b>6,525,705</b>  |
| <b>無形固定資産</b>   | <b>330,146</b>    | 資本金                | 1,813,796         |
| リース資産           | 6,774             | 資本剰余金              | 1,313,795         |
| その他             | 323,371           | 利益剰余金              | 3,398,214         |
| <b>投資その他の資産</b> | <b>114,977</b>    | 自己株式               | △100              |
| 投資有価証券          | 14,894            | <b>その他の包括利益累計額</b> | △1,149            |
| 繰延税金資産          | 7,582             | その他有価証券評価差額金       | △1,149            |
| その他             | 92,500            | <b>純資産合計</b>       | <b>6,524,555</b>  |
| <b>資産合計</b>     | <b>10,833,845</b> | <b>負債・純資産合計</b>    | <b>10,833,845</b> |

## 連結損益計算書

(平成23年5月1日から  
平成24年4月30日まで)

(単位：千円)

| 科 目            | 金       | 額          |
|----------------|---------|------------|
| 売上高            |         | 20,490,890 |
| 売上原価           |         | 8,018,356  |
| 売上総利益          |         | 12,472,533 |
| 販売費及び一般管理費     |         | 10,661,153 |
| 営業利益           |         | 1,811,379  |
| 営業外収益          |         |            |
| 受取利息及び配当金      | 1,561   |            |
| 貸倒引当金戻入額       | 21,637  |            |
| 保険解約返戻金        | 21,313  |            |
| 違約金収入          | 9,800   |            |
| その他            | 10,997  | 65,311     |
| 営業外費用          |         |            |
| 支払利息           | 48,954  |            |
| 支払保証料          | 11,103  |            |
| 為替差損           | 28,190  |            |
| その他            | 5,373   | 93,621     |
| 経常利益           |         | 1,783,069  |
| 特別損失           |         |            |
| 固定資産除却損        | 8,548   | 8,548      |
| 税金等調整前当期純利益    |         | 1,774,520  |
| 法人税、住民税及び事業税   | 733,052 |            |
| 法人税等調整額        | 5,709   | 738,761    |
| 少数株主損益調整前当期純利益 |         | 1,035,758  |
| 当期純利益          |         | 1,035,758  |

## 連結株主資本等変動計算書

(平成23年5月1日から  
平成24年4月30日まで)

(単位：千円)

|                         | 株 主 資 本   |           |           |         |             |
|-------------------------|-----------|-----------|-----------|---------|-------------|
|                         | 資 本 金     | 資 本 剰 余 金 | 利 益 剰 余 金 | 自 己 株 式 | 株 主 資 本 合 計 |
| 平成23年5月1日残高             | 1,813,796 | 1,313,795 | 2,575,424 | △100    | 5,702,915   |
| 当期変動額                   |           |           |           |         |             |
| 剰余金の配当                  |           |           | △212,969  |         | △212,969    |
| 当期純利益                   |           |           | 1,035,758 |         | 1,035,758   |
| 株主資本以外の項目の<br>当期変動額(純額) |           |           |           |         |             |
| 連結会計年度中の変動額合計           | —         | —         | 822,789   | —       | 822,789     |
| 平成24年4月30日残高            | 1,813,796 | 1,313,795 | 3,398,214 | △100    | 6,525,705   |

|                         | その他の包括利益累計額      |         |                   | 純資産合計     |
|-------------------------|------------------|---------|-------------------|-----------|
|                         | その他有価証券<br>評価差額金 | 繰延ヘッジ損益 | その他の包括<br>利益累計額合計 |           |
| 平成23年5月1日残高             | 969              | △105    | 863               | 5,703,779 |
| 当期変動額                   |                  |         |                   |           |
| 剰余金の配当                  |                  |         |                   | △212,969  |
| 当期純利益                   |                  |         |                   | 1,035,758 |
| 株主資本以外の項目の<br>当期変動額(純額) | △2,118           | 105     | △2,012            | △2,012    |
| 連結会計年度中の変動額合計           | △2,118           | 105     | △2,012            | 820,776   |
| 平成24年4月30日残高            | △1,149           | —       | △1,149            | 6,524,555 |

## 連結注記表

### (連結計算書類作成のための基本となる重要な事項に関する注記等)

#### 1. 連結の範囲に関する事項

連結子会社の数及び主要な連結子会社の名称  
 すべての子会社を連結しております。  
 連結子会社の数 1社  
 連結子会社の名称 LABO WELL株式会社

#### 2. 会計処理基準に関する事項

##### (1) 資産の評価基準及び評価方法

##### ① 有価証券の評価基準及び評価方法

##### その他有価証券

##### 市場価格のあるもの

期末日の市場価格等に基づく時価法  
 (評価差額は全部純資産直入法により処理し、売却原価は移動平均法により算定)

##### 市場価格のないもの

##### 移動平均法による原価法

##### ② 棚卸資産の評価基準及び評価方法

##### 商品、製品、原材料、仕掛品

総平均法による原価法(貸借対照表価額については、収益性の低下に基づく簿価切下げの方法により算定)

##### 貯蔵品

最終仕入原価法(貸借対照表価額については、収益性の低下に基づく簿価切下げの方法により算定)

##### ③ デリバティブ取引により生じる正味の債権及び債務の評価基準及び評価方法

##### 時価法

##### (2) 固定資産の減価償却の方法

##### ① 有形固定資産(リース資産を除く)

定率法(ただし、平成10年4月1日以降に取得した建物(建物附属設備を除く)については定額法)

##### ② 無形固定資産(リース資産を除く)

##### 定額法

なお、ソフトウェア(自社利用分)については、社内における利用可能期間(5年)に基づく定額法によっております。

##### ③ リース資産

所有権移転外ファイナンス・リース取引に係るリース資産

リース期間を耐用年数とし、残存価額を零とする定額法を採用しております。  
 なお、所有権移転外ファイナンス・リース取引のうち、リース取引開始日が平成20年4月30日以前のリース取引については、通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理によっております。

##### (3) 引当金の計上基準

##### ① 貸倒引当金

債権の貸倒れによる損失に備えるため、一般債権については貸倒実績率により、貸倒懸念債権等特定の債権については個別に回収可能性を勘案し、回収不能見込額を計上しております。

##### ② 賞与引当金

当社は、従業員への賞与の支給に充てるため、支給見込額のうち当連結会計年度の負担額を計上しております。

##### ③ 返品調整引当金

当社は、連結会計年度末日後の返品による損失に備えるため、過去の返品実績等に基づき、将来の返品による損失見込額を計上しております。

##### (4) その他連結計算書類作成のための基本となる重要な事項

##### ① 重要なヘッジ会計の方法

原則として繰延ヘッジ処理によっております。なお、振当処理の要件を満たしている為替予約については振当処理によっており、特例処理の要件を満たしている金利スワップについては特例処理によっております。

##### ② 消費税等の会計処理

税抜方式によっております。

### (表示方法の変更に関する注記)

#### (連結損益計算書)

前連結会計年度において「営業外費用」の「その他」に含めていた「支払保証料」(前連結会計年度5,724千円)は、金額の重要性が増したため、当連結会計年度より独立掲記することとしております。

また、「営業外費用」に独立掲記していた「融資手数料」（当連結会計年度3,217千円）は、金額の重要性が乏しいため、当連結会計年度より「その他」に含めて表示しております。

#### (追加情報)

#### 1. 会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準等の適用

当連結会計年度の期首以降に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」（企業会計基準第24号 平成21年12月4日）及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第24号 平成21年12月4日）を適用しております。

#### 2. 法定実効税率の変更による繰延税金資産及び繰延税金負債の金額の修正

「経済社会の構造の変化に対応した税制の構築を図るための所得税法等の一部を改正する法律」（平成23年法律第114号）及び「東日本大震災からの復興のための施策を実施するために必要な財源の確保に関する特別措置法」（平成23年法律第117号）が平成23年12月2日に公布され、平成24年5月1日以降に開始する連結会計年度から法人税率の引き下げ及び復興特別法人税の課税が行われることになりました。

これに伴い、繰延税金資産及び繰延税金負債の計算に使用する法定実効税率は、従来の40.69%から、平成24年5月1日に開始する連結会計年度から平成26年5月1日に開始する連結会計年度までに解消が見込まれる一時差異については38.01%、平成27年5月1日に開始する連結会計年度以降に解消が見込まれる一時差異については35.64%となります。

この税率変更により、繰延税金資産の金額が8,800千円、その他有価証券評価差額金が90千円それぞれ減少し、法人税等調整額が8,710千円増加しております。

#### (連結貸借対照表に関する注記)

#### 1. 担保に供している資産及び担保に係る債務

|                |             |
|----------------|-------------|
| (1) 担保に供している資産 |             |
| 建物             | 82,661千円    |
| 土地             | 288,890千円   |
| 計              | 371,552千円   |
| (2) 担保に係る債務    |             |
| 支払手形（信用状）      | 460,933千円   |
| 1年内返済予定の長期借入金  | 213,031千円   |
| 長期借入金          | 386,176千円   |
| 計              | 1,060,142千円 |

#### 2. 有形固定資産の減価償却累計額 308,773千円

#### (連結株主資本等変動計算書に関する注記)

#### 1. 当連結会計年度の末日における発行済株式の種類及び総数

普通株式 5,834,888株

#### 2. 配当に関する事項

#### (1) 配当金支払額

| 決議                   | 株式の種類 | 配当金の総額(千円) | 1株当たり配当額(円) | 基準日         | 効力発生日      |
|----------------------|-------|------------|-------------|-------------|------------|
| 平成23年7月28日<br>定時株主総会 | 普通株式  | 107,943    | 18.50       | 平成23年4月30日  | 平成23年7月29日 |
| 平成23年12月14日<br>取締役会  | 普通株式  | 105,025    | 18.00       | 平成23年10月31日 | 平成24年1月10日 |
| 計                    |       | 212,969    |             |             |            |

(2) 基準日が当連結会計年度に属する配当のうち、配当の効力発生日が翌連結会計年度となるものの平成24年7月27日開催の定時株主総会の議案として、普通株式の配当に関する事項を次のとおり提案しております。

| 決議                   | 株式の種類 | 配当金の総額(千円) | 配当の原資 | 1株当たり配当額(円) | 基準日        | 効力発生日      |
|----------------------|-------|------------|-------|-------------|------------|------------|
| 平成24年7月27日<br>定時株主総会 | 普通株式  | 105,025    | 利益剰余金 | 18.00       | 平成24年4月30日 | 平成24年7月30日 |

**(金融商品に関する注記)**

1. 金融商品の状況に関する事項

(1) 金融商品に対する取組方針

当社グループは、資金運用については定期預金を中心に、一部を安全性の高い投資信託にて運用し、資金調達については、社債、銀行借入等によっております。

デリバティブは借入金の金利変動リスク及び為替変動リスクを回避するために利用しており、投機的な取引は行わない方針であります。

(2) 金融商品の内容及びそのリスク並びにリスク管理体制

営業債権である受取手形及び売掛金に係る顧客の信用リスクについては、当社グループの与信管理規程に従い、その低減を図っております。

有価証券、投資有価証券は株式及び投資信託であり、市場価格の変動リスクに晒されておりますが、四半期ごとに時価の把握を行っております。

営業債務である支払手形及び買掛金並びに未払金は、1年以内に支払期日の到来するものであります。このうち、外貨建ての営業債務に係る為替の変動リスクについては、為替予約を利用してその低減を図っております。

社債、借入金は主に営業取引に係る資金調達によるものであります。変動金利の借入金は金利の変動リスクに晒されておりますが、このうち長期のものの一部について、金利スワップ取引を実施して支払利息の固定化を図っております。

なお、デリバティブ取引は資金管理規程等に従い、実需の範囲内で行うこととしております。

営業債務や社債、借入金は、流動性リスクに晒されておりますが、当社グループではグループ全体の資金計画を作成するなどの方法により管理しております。

2. 金融商品の時価等に関する事項

平成24年4月30日(当期の連結決算日)における連結貸借対照表計上額、時価及びこれらの差額については、次のとおりであります。

|               | 連結貸借対照表計上額(千円) | 時価(千円)    | 差額(千円) |
|---------------|----------------|-----------|--------|
| (1) 現金及び預金    | 2,779,470      | 2,779,470 | —      |
| (2) 受取手形及び売掛金 | 3,339,534      | 3,339,534 | —      |
| (3) 有価証券      | 50,069         | 50,069    | —      |
| (4) 投資有価証券    | 14,894         | 14,894    | —      |
| 資 産 計         | 6,183,969      | 6,183,969 | —      |
| (1) 支払手形及び買掛金 | 1,081,268      | 1,081,268 | —      |
| (2) 未払金       | 1,094,731      | 1,094,731 | —      |
| (3) 社債        | 195,000        | 196,488   | 1,488  |
| (4) 長期借入金     | 1,158,630      | 1,165,854 | 7,223  |
| 負 債 計         | 3,529,631      | 3,538,343 | 8,711  |

(注) 金融商品の時価の算定方法及び有価証券に関する事項

**資産**

(1) 現金及び預金、(2) 受取手形及び売掛金

これらは短期間で決済されるため、時価は帳簿価額にほぼ等しいことから、当該帳簿価額によっております。

(3) 有価証券、(4) 投資有価証券

これらの時価については、株式は取引所の価格、投資信託は公表されている基準価格又は取引金融機関から提示された価格によっております。

**負債**

(1) 支払手形及び買掛金、(2) 未払金

これらは短期間で決済されるため、時価は帳簿価額にほぼ等しいことから、当該帳簿価額によっております。

(3) 社債、(4) 長期借入金

社債及び長期借入金の時価については、元利金の合計額を同様の新規調達を行った場合に想定される利率で割り引いて算定する方法によっております。

**(1株当たり情報に関する注記)**

|            |           |
|------------|-----------|
| 1株当たり純資産額  | 1,118円22銭 |
| 1株当たり当期純利益 | 177円51銭   |

**(その他)**

記載金額は千円未満を切り捨てて表示してまいります。

# 貸借対照表

(平成24年4月30日現在)

(単位：千円)

| 科 目             | 金 額               | 科 目             | 金 額               |
|-----------------|-------------------|-----------------|-------------------|
| <b>(資産の部)</b>   |                   | <b>(負債の部)</b>   |                   |
| <b>流動資産</b>     | <b>9,624,183</b>  | <b>流動負債</b>     | <b>3,550,555</b>  |
| 現金及び預金          | 2,709,318         | 支払手形            | 556,350           |
| 受取手形            | 219,643           | 買掛金             | 498,308           |
| 売掛金             | 3,159,341         | 1年内返済予定の長期借入金   | 518,299           |
| 有価証券            | 50,069            | 1年内償還予定の社債      | 160,000           |
| 商品及び製品          | 2,731,447         | リース負債           | 23,329            |
| 仕掛品             | 37,203            | 未払費用            | 1,091,138         |
| 材料及び貯蔵品         | 320,789           | 未払法人税等          | 40,060            |
| 前払費用            | 45,878            | 前払税金            | 374,761           |
| 繰延税金資産          | 54,351            | 預り金             | 114               |
| その他の金           | 106,535           | 賞与引当金           | 9,985             |
| 貸倒引当金           | 195,493           | 返品調整引当金         | 27,500            |
|                 | △5,887            | その他の負債          | 155,504           |
| <b>固定資産</b>     | <b>1,044,769</b>  | <b>固定負債</b>     | <b>713,171</b>    |
| <b>有形固定資産</b>   | <b>565,988</b>    | 社長期借入金          | 35,000            |
| 建物              | 130,338           | リース負債           | 640,330           |
| 構築物             | 341               | その他の負債          | 37,759            |
| 機械及び装置          | 25,513            |                 | 81                |
| 車両運搬具           | 341               | <b>負債合計</b>     | <b>4,263,727</b>  |
| 工具、器具及び備品       | 12,412            | <b>(純資産の部)</b>  |                   |
| 土地              | 12,412            | <b>株主資本</b>     | <b>6,406,375</b>  |
| リース資産           | 346,393           | 資本剰余金           | 1,813,796         |
| 建設仮勘定           | 49,362            | 資本準備金           | 1,313,795         |
| <b>無形固定資産</b>   | <b>328,271</b>    | 利益剰余金           | 3,278,884         |
| 特許権             | 1,286             | 利益準備金           | 1,313,795         |
| ソフトウェア          | 40,940            | その他利益剰余金        | 3,278,884         |
| リース資産           | 223,281           | 繰越利益剰余金         | 61,792            |
| その他の資産          | 6,774             | 繰越利益剰余金         | 3,217,092         |
|                 | 57,275            | 繰越利益剰余金         | 5,500             |
| <b>投資その他の資産</b> | <b>150,509</b>    | 繰越利益剰余金         | 3,211,592         |
| 投資有価証券          | 14,894            | 自己株式            | △100              |
| 関係会社株式          | 35,532            | 評価・換算差額等        | △1,149            |
| 繰延税金資産          | 7,582             | その他有価証券評価差額金    | △1,149            |
| その他の資産          | 92,500            | <b>純資産合計</b>    | <b>6,405,226</b>  |
| <b>資産合計</b>     | <b>10,668,953</b> | <b>負債・純資産合計</b> | <b>10,668,953</b> |

# 損益計算書

(平成23年5月1日から  
平成24年4月30日まで)

(単位：千円)

| 科 目                     | 金       | 額          |
|-------------------------|---------|------------|
| 売 上 高                   |         | 19,975,085 |
| 売 上 原 価                 |         | 7,663,002  |
| 売 上 総 利 益               |         | 12,312,083 |
| 販 売 費 及 び 一 般 管 理 費     |         | 10,569,441 |
| 営 業 利 益                 |         | 1,742,642  |
| 営 業 外 収 益               |         |            |
| 受 取 利 息 及 び 配 当 金       | 2,914   |            |
| 業 務 委 託 料 収 入           | 12,000  |            |
| 貸 倒 引 当 金 戻 入 額         | 22,036  |            |
| 保 険 解 約 返 戻 金           | 21,313  |            |
| 違 約 金 収 入               | 9,800   |            |
| そ の 他                   | 6,349   | 74,413     |
| 営 業 外 費 用               |         |            |
| 支 払 利 息                 | 48,564  |            |
| 支 払 保 証 料               | 11,103  |            |
| 為 替 差 損                 | 29,175  |            |
| そ の 他                   | 5,373   | 94,216     |
| 経 常 利 益                 |         | 1,722,839  |
| 特 別 損 失                 |         |            |
| 固 定 資 産 除 却 損           | 8,548   | 8,548      |
| 税 引 前 当 期 純 利 益         |         | 1,714,290  |
| 法 人 税 、 住 民 税 及 び 事 業 税 | 709,546 |            |
| 法 人 税 等 調 整 額           | 2,637   | 712,183    |
| 当 期 純 利 益               |         | 1,002,106  |



## 株主資本等変動計算書

(平成23年5月1日から  
平成24年4月30日まで)

(単位：千円)

|                         | 株 主 資 本   |           |             |           |           |           |              |
|-------------------------|-----------|-----------|-------------|-----------|-----------|-----------|--------------|
|                         | 資 本 金     | 資 本 剰 余 金 |             |           | 利 益 剰 余 金 |           |              |
|                         |           | 資 準 備 本 金 | 資 剰 余 本 金 計 | 利 準 備 益 金 | その他利益剰余金  |           | 利益剰余金<br>合 計 |
|                         |           |           |             | 別途積立金     | 繰越利益金     |           |              |
| 平成23年5月1日残高             | 1,813,796 | 1,313,795 | 1,313,795   | 61,792    | 5,500     | 2,422,454 | 2,489,746    |
| 当 期 変 動 額               |           |           |             |           |           |           |              |
| 剰余金の配当                  |           |           |             |           |           | △212,969  | △212,969     |
| 当 期 純 利 益               |           |           |             |           |           | 1,002,106 | 1,002,106    |
| 株主資本以外の項目<br>の当期変動額(純額) |           |           |             |           |           |           |              |
| 当期変動額合計                 | —         | —         | —           | —         | —         | 789,137   | 789,137      |
| 平成24年4月30日残高            | 1,813,796 | 1,313,795 | 1,313,795   | 61,792    | 5,500     | 3,211,592 | 3,278,884    |

|                         | 株主資本 |                | 評価・換算差額等                      |              |                      | 純 資 産<br>合 計 |
|-------------------------|------|----------------|-------------------------------|--------------|----------------------|--------------|
|                         | 自己株式 | 株 主 資 本<br>合 計 | そ の 他<br>有 価 証 券<br>評 価 差 額 金 | 繰延ヘッジ<br>損 益 | 評 価 ・ 換 算<br>差 額 等 計 |              |
| 平成23年5月1日残高             | △100 | 5,617,237      | 969                           | △105         | 863                  | 5,618,101    |
| 当 期 変 動 額               |      |                |                               |              |                      |              |
| 剰余金の配当                  |      | △212,969       |                               |              |                      | △212,969     |
| 当 期 純 利 益               |      | 1,002,106      |                               |              |                      | 1,002,106    |
| 株主資本以外の項目<br>の当期変動額(純額) |      |                | △2,118                        | 105          | △2,012               | △2,012       |
| 当期変動額合計                 | —    | 789,137        | △2,118                        | 105          | △2,012               | 787,124      |
| 平成24年4月30日残高            | △100 | 6,406,375      | △1,149                        | —            | △1,149               | 6,405,226    |

# 個別注記表

## (重要な会計方針に係る事項に関する注記)

1. 資産の評価基準及び評価方法
  - (1) 有価証券の評価基準及び評価方法
    - ① 子会社株式及び関連会社株式  
移動平均法による原価法
    - ② その他有価証券  
市場価格のあるもの  
期末日の市場価格等に基づく時価法（評価差額は全部純資産直入法により処理し、売却原価は移動平均法により算定）  
市場価格のないもの  
移動平均法による原価法
  - (2) 棚卸資産の評価基準及び評価方法
    - ① 商品、製品、原材料、仕掛品  
総平均法による原価法（貸借対照表価額については、収益性の低下に基づく簿価切下げの方法により算定）
    - ② 貯蔵品  
最終仕入原価法（貸借対照表価額については、収益性の低下に基づく簿価切下げの方法により算定）
  - (3) デリバティブ取引により生じる正味の債権及び債務の評価基準及び評価方法  
時価法
2. 固定資産の減価償却の方法
  - (1) 有形固定資産（リース資産を除く）  
定率法（ただし、平成10年4月1日以降に取得した建物（建物附属設備を除く）については定額法）
  - (2) 無形固定資産（リース資産を除く）  
定額法  
なお、ソフトウェア（自社利用分）については、社内における利用可能期間（5年）に基づく定額法によっております。
  - (3) リース資産  
所有権移転外ファイナンス・リース取引に係るリース資産  
リース期間を耐用年数とし、残存価額を零とする定額法を採用しております。  
なお、所有権移転外ファイナンス・リース取引のうち、リース取引開始日が平成20年4月30日以前のリース取引については、通

常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理によっております。

3. 引当金の計上基準
  - (1) 貸倒引当金  
債権の貸倒れによる損失に備えるため、一般債権については貸倒実績率により、貸倒懸念債権等特定の債権については個別に回収可能性を勘案し、回収不能見込額を計上しております。
  - (2) 賞与引当金  
従業員への賞与の支給に充てるため、支給見込額のうち当事業年度の負担額を計上しております。
  - (3) 返品調整引当金  
事業年度末日後の返品による損失に備えるため、過去の返品実績等に基づき、将来の返品による損失見込額を計上しております。
4. その他の計算書類作成のための基本となる重要な事項
  - (1) 重要なヘッジ会計の方法  
原則として繰延ヘッジ処理によっております。なお、振当処理の要件を満たしている為替予約については振当処理によっており、特例処理の要件を満たしている金利スワップについては特例処理によっております。
  - (2) 消費税等の会計処理  
税抜方式によっております。

## (表示方法の変更に関する注記)

### (損益計算書)

前事業年度において「営業外費用」の「その他」に含めていた「支払保証料」（前事業年度5,724千円）は、金額的重要性が増したため、当事業年度より独立掲記することとしております。

また、「営業外費用」に独立掲記していた「融資手数料」（当事業年度3,217千円）は、金額的重要性が乏しいため、当事業年度より「その他」に含めて表示しております。

### (追加情報)

会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準等の適用

当事業年度の期首以降に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」(企業会計基準第24号 平成21年12月4日)及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第24号 平成21年12月4日)を適用しております。

### (貸借対照表に関する注記)

#### 1. 担保に供している資産及び担保に係る債務

##### (1) 担保に供している資産

|    |           |
|----|-----------|
| 建物 | 82,661千円  |
| 土地 | 288,890千円 |
| 計  | 371,552千円 |

##### (2) 担保に係る債務

|               |             |
|---------------|-------------|
| 支払手形(信用状)     | 460,933千円   |
| 1年内返済予定の長期借入金 | 213,031千円   |
| 長期借入金         | 386,176千円   |
| 計             | 1,060,142千円 |

#### 2. 有形固定資産の減価償却累計額 308,564千円

#### 3. 保証債務

子会社LABO WELL株式会社の金融機関に対する信用状の決済資金に対する債務保証

12,655千円

#### 4. 関係会社に対する金銭債権及び債務

|        |           |
|--------|-----------|
| 短期金銭債権 | 122,241千円 |
| 短期金銭債務 | 12,839千円  |

### (損益計算書に関する注記)

関係会社との取引高

営業取引による取引高

|     |           |
|-----|-----------|
| 売上高 | 230,152千円 |
| 仕入高 | 40,458千円  |

営業取引以外の取引による取引高

|         |          |
|---------|----------|
| 業務委託料収入 | 12,000千円 |
| 受取利息    | 1,365千円  |

### (株主資本等変動計算書に関する注記)

自己株式の種類及び株式数に関する事項

|      | 当事業年度期首<br>株式数(株) | 当事業年度<br>増加株式数<br>(株) | 当事業年度<br>減少株式数<br>(株) | 当事業年度末<br>株式数(株) |
|------|-------------------|-----------------------|-----------------------|------------------|
| 普通株式 | 116               | —                     | —                     | 116              |

### (税効果会計に関する注記)

#### 1. 繰延税金資産及び繰延税金負債の発生の主な原因別の内訳

繰延税金資産(流動)

|         |          |
|---------|----------|
| 未払事業税   | 29,398千円 |
| 賞与引当金   | 10,452千円 |
| 返品調整引当金 | 59,107千円 |
| 一括償却資産  | 2,273千円  |
| 貸倒引当金   | 2,098千円  |
| その他     | 3,204千円  |

繰延税金資産(流動) 合計 106,535千円

繰延税金資産(固定)

|              |         |
|--------------|---------|
| 減価償却超過額      | 730千円   |
| 資産除去債務       | 4,839千円 |
| その他有価証券評価差額金 | 636千円   |
| その他          | 1,376千円 |

繰延税金資産(固定) 合計 7,582千円

#### 2. 法定実効税率の変更による繰延税金資産及び繰延税金負債の金額の修正

「経済社会の構造の変化に対応した税制の構築を図るための所得税法等の一部を改正する法律」(平成23年法律第114号)及び「東日本大震災からの復興のための施策を実施するために必要な財源の確保に関する特別措置法」(平成23年法律第117号)が平成23年12月2日に公布され、平成24年5月1日以降に開始する事業年度から法人税率の引き下げ及び復興特別法人税の課税が行われることになりました。

これに伴い、繰延税金資産及び繰延税金負債の計算に使用する法定実効税率は、従来の40.69%から、平成24年5月1日に開始する事業年度から平成26年5月1日に開始する事業年度までに解消が見込まれる一時差異については38.01%、平成27年5月1日に開始する事業年度以降に解消が見込まれる一時差異については35.64%となります。

この税率変更により、繰延税金資産の金額が8,712千円、その他有価証券評価差額金が90千円それぞれ減少し、法人税等調整額が8,622千円増加しております。

**(リースにより使用する固定資産に関する注記)**

貸借対照表に計上した固定資産のほか、事務機器等の一部については、所有権移転外ファイナンス・リース契約により使用しております。

**(1株当たり情報に関する注記)**

|            |           |
|------------|-----------|
| 1株当たり純資産額  | 1,097円77銭 |
| 1株当たり当期純利益 | 171円75銭   |

**(その他)**

記載金額は千円未満を切り捨てて表示しております。

# 連結計算書類に係る会計監査人の監査報告書 謄本

## 独立監査人の監査報告書

平成24年6月18日

ヤーマン株式会社

取締役会 御中

有限責任 あずさ監査法人

指定有限責任社員 公認会計士 飯 塚 昇 ㊞  
業務執行社員

指定有限責任社員 公認会計士 山 下 隆 ㊞  
業務執行社員

指定有限責任社員 公認会計士 浅 野 俊 治 ㊞  
業務執行社員

当監査法人は、会社法第444条第4項の規定に基づき、ヤーマン株式会社の平成23年5月1日から平成24年4月30日までの連結会計年度の連結計算書類、すなわち、連結貸借対照表、連結損益計算書、連結株主資本等変動計算書及び連結注記表について監査を行った。

### 連結計算書類に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して連結計算書類を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない連結計算書類を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

### 監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した監査に基づいて、独立の立場から連結計算書類に対する意見を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して監査を行った。監査の基準は、当監査法人に連結計算書類に重要な虚偽表示がないかどうかについて合理的な保証を得るために、監査計画を策定し、これに基づき監査を実施することを求めている。

監査においては、連結計算書類の金額及び開示について監査証拠を入手するための手続が実施される。監査手続は、当監査法人の判断により、不正又は誤謬による連結計算書類の重要な虚偽表示のリスクの評価に基づいて選択及び適用される。監査の目的は、内部統制の有効性について意見表明するためのものではないが、当監査法人は、リスク評価の実施に際して、状況に応じた適切な監査手続を立案するために、連結計算書類の作成と適正な表示に関連する内部統制を検討する。また、監査には、経営者が採用した会計方針及びその適用方法並びに経営者によって行われた見積りの評価も含め全体としての連結計算書類の表示を検討することが含まれる。

当監査法人は、意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手したと判断している。

### 監査意見

当監査法人は、上記の連結計算書類が、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して、ヤーマン株式会社及び連結子会社からなる企業集団の当該連結計算書類に係る期間の財産及び損益の状況をすべての重要な点において適正に表示しているものと認める。

### 利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

独立監査人の監査報告書

平成24年6月18日

ヤーマン株式会社

取締役会 御中

有限責任 あずさ監査法人

|                    |       |    |    |   |
|--------------------|-------|----|----|---|
| 指定有限責任社員<br>業務執行社員 | 公認会計士 | 飯塚 | 昇  | Ⓔ |
| 指定有限責任社員<br>業務執行社員 | 公認会計士 | 山下 | 隆  | Ⓔ |
| 指定有限責任社員<br>業務執行社員 | 公認会計士 | 浅野 | 俊治 | Ⓔ |

当監査法人は、会社法第436条第2項第1号の規定に基づき、ヤーマン株式会社の平成23年5月1日から平成24年4月30日までの第38期事業年度の計算書類、すなわち、貸借対照表、損益計算書、株主資本等変動計算書及び個別注記表並びにその附属明細書について監査を行った。

計算書類等に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して計算書類及びその附属明細書を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない計算書類及びその附属明細書を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した監査に基づいて、独立の立場から計算書類及びその附属明細書に対する意見を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して監査を行った。監査の基準は、当監査法人に計算書類及びその附属明細書に重要な虚偽表示がないかどうかについて合理的な保証を得るために、監査計画を策定し、これに基づき監査を実施することを求めている。

監査においては、計算書類及びその附属明細書の金額及び開示について監査証拠を入手するための手続が実施される。監査手続は、当監査法人の判断により、不正又は誤謬による計算書類及びその附属明細書の重要な虚偽表示のリスクの評価に基づいて選択及び適用される。監査の目的は、内部統制の有効性について意見表明するためのものではないが、当監査法人は、リスク評価の実施に際して、状況に応じた適切な監査手続を立案するために、計算書類及びその附属明細書の作成と適正な表示に関連する内部統制を検討する。また、監査には、経営者が採用した会計方針及びその適用方法並びに経営者によって行われた見積りの評価も含め全体としての計算書類及びその附属明細書の表示を検討することが含まれる。

当監査法人は、意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手したと判断している。

監査意見

当監査法人は、上記の計算書類及びその附属明細書が、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して、当該計算書類及びその附属明細書に係る期間の財産及び損益の状況をすべての重要な点において適正に表示しているものと認める。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

## 監 査 報 告 書

当監査役会は、平成23年5月1日から平成24年4月30日までの第38期事業年度の取締役の職務の執行に関して、各監査役が作成した監査報告書に基づき審議の結果、監査役全員の一致した意見として本監査報告書を作成し、以下のとおり報告いたします。

### 1. 監査役及び監査役会の監査の方法及びその内容

監査役会は、監査の方針、職務の分担等を定め、各監査役から監査の実施状況及び結果について報告を受けるほか、取締役等及び会計監査人からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求めました。

各監査役は、監査役会が定めた監査役監査の基準に準拠し、監査の方針、職務の分担等に従い、取締役、内部統制部門その他の使用人等と意思疎通を図り、情報の収集及び監査の環境の整備に努めるとともに、取締役会その他重要な会議に出席し、取締役及び使用人等からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求め、重要な決裁書類等を閲覧し、本社及び主要な事業所において業務及び財産の状況を調査いたしました。

また、内部統制システム（取締役の職務の執行が法令及び定款に適合することを確保するための体制その他株式会社の業務の適正を確保するために必要なものとして会社法施行規則第100条第1項及び第3項に定める体制の整備に関する取締役会決議の内容及び当該決議に基づき整備されている体制）について、取締役及び使用人等からその構築及び運用の状況について定期的に報告を受け、必要に応じて説明を求め、意見を表明いたしました。子会社については、子会社の取締役及び監査役等と意思疎通及び情報の交換を図り、必要に応じて子会社から事業の報告を受けました。以上の方法に基づき、当該事業年度に係る事業報告及びその附属明細書について検討いたしました。

さらに、会計監査人が独立の立場を保持し、かつ、適正な監査を実施しているかを監視及び検証するとともに、会計監査人からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求めました。また、会計監査人から「職務の遂行が適正に行われることを確保するための体制」（会社計算規則第131条各号に掲げる事項）を「監査に関する品質管理基準」（平成17年10月28日企業会計審議会）等に従って整備している旨の通知を受け、必要に応じて説明を求めました。以上の方法に基づき、当該事業年度に係る計算書類（貸借対照表、損益計算書、株主資本等変動計算書及び個別注記表）及びその附属明細書並びに連結計算書類（連結貸借対照表、連結損益計算書、連結株主資本等変動計算書及び連結注記表）について検討いたしました。

## 2. 監査の結果

### (1) 事業報告等の監査結果

- 一 事業報告及びその附属明細書は、法令及び定款に従い、会社の状況を正しく示しているものと認めます。
- 二 取締役の職務の執行に関する不正の行為又は法令もしくは定款に違反する重大な事実はありません。
- 三 内部統制システムに関する取締役会決議の内容は相当であると認めます。また、当該内部統制システムに関する事業報告の記載内容及び取締役の職務の執行についても、指摘すべき事項はありません。

### (2) 計算書類及びその附属明細書の監査結果

会計監査人 有限責任 あずさ監査法人の監査の方法及び結果は相当であると認めます。

### (3) 連結計算書類の監査結果

会計監査人 有限責任 あずさ監査法人の監査の方法及び結果は相当であると認めます。

平成24年6月21日

ヤーマン株式会社 監査役会

|         |   |   |   |   |   |
|---------|---|---|---|---|---|
| 常勤社外監査役 | 岩 | 崎 | 榮 | 治 | Ⓔ |
| 社外監査役   | 榊 | 原 | 純 | 一 | Ⓔ |
| 社外監査役   | 山 | 田 | 勝 | 利 | Ⓔ |
| 社外監査役   | 亀 | 岡 | 義 | 一 | Ⓔ |

以上



# 株主総会参考書類

## 議案及び参考事項

### 第1号議案 剰余金の処分の件

当期の期末配当につきましては、今後の事業展開及び内部留保の状況等を踏まえ、株主の皆様への利益還元の観点から、次のとおりとさせていただきますたく存じます。

- (1) 配当財産の種類  
金銭といたします。
- (2) 株主に対する配当財産の割当てに関する事項及びその総額  
当社普通株式1株につき金18円 総額 105,025,896円
- (3) 剰余金の配当が効力を生じる日  
平成24年7月30日

### 第2号議案 取締役1名選任の件

取締役1名は、本総会の終結の時をもって任期満了となりますので、取締役1名の選任をお願いいたしたいと存じます。

取締役候補者は、次のとおりであります。

| 氏名<br>(生年月日)                      | 略歴、当社における地位及び担当並びに重要な兼職の状況   | 所有する<br>当社株式の数 |
|-----------------------------------|--|----------------|
| とだしょうた<br>戸田 正太<br>(昭和52年12月30日生) | 平成13年4月 当社入社<br>平成14年7月 健康機器事業部第一部部長就任<br>平成20年1月 執行役員第二健康機器事業部長就任<br>平成22年5月 執行役員営業本部第二健康機器事業部長就任<br>平成22年7月 取締役営業本部第二健康機器事業部長就任<br>(現任)<br><br>(重要な兼職の状況)<br>該当事項はありません。 | 4,800株         |

(注) 候補者と当社との間に特別の利害関係はありません。

以 上

メモ欄

A series of 20 horizontal dotted lines for writing.